

令和8年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書
(令和7年度分)

大石田町教育委員会

目 次

I	大石田町教育委員会事務事業の点検・評価について	1
1.	制度の概要及び目的	1
2.	点検・評価の対象事業	1
3.	点検・評価の方法	1
4.	学識経験者の知見の活用	2
II	教育委員会の活動状況	2
1.	教育委員会の開催	2
2.	教育委員会会議以外の活動	3
3.	総合教育会議の開催	4
III	施策の体系	5
1.	基本目標	5
2.	基本的な方針	5
3.	施策の展開方向	6
IV	点検・評価事業と評価方法	12
V	意見の集約	12
	大石田町教育方針「評価シート」集計表	24
	※用語集	25

I 大石田町教育委員会事務事業の点検・評価について

1. 制度の概要及び目的

教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行状況について教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図り、自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表しなければならないこととされています。

このことを受け、大石田町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすため、前年度に行った事務事業について点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、「第7次大石田町総合振興計画」を受け、毎年策定する「大石田町の教育」（教育方針）に基づく重点施策の中から、「（コミュニティ・スクール関連を含む）学校教育関連施策9項目」、「生涯学習関連施策11項目」を対象としています。

3. 点検・評価の方法

点検・評価の方法は、学識経験者として学校運営協議会委員及び社会教育委員に意見をいただき、併せて、教育委員、事務局職員及び学校教職員による施策項目毎の5段階評価を行いました。

また、各項目の意見集約を行いました。

【 参 考 】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の抜粋

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行う点検・評価については、法第26条第2項の規定に基づき「教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。」とされています。今年度も昨年同様に、町内小中学校運営協議会委員及び社会教育委員の方から、点検・評価の内容について意見をいただきました。

Ⅱ 教育委員会の活動状況

1. 教育委員会の開催

(1) 令和7年は、7回の教育委員会を開催しました。

① 第1回教育委員会 令和7年2月19日（水）

議案第1号 令和6年度大石田町教育委員会関係補正予算について

議案第2号 令和7年度大石田町教育委員会関係当初予算について

議案第3号 大石田町立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

議案第4号 大石田町立小中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について

② 第2回教育委員会 令和7年3月5日（水）

議案第5号 令和7年度県費負担教職員の人事異動の内申について

議案第6号 令和7年度大石田町教育方針について

議案第7号 大石田町立歴史民俗資料館館長の任命について

議案第8号 大石田町立図書館館長の任命について

③ 第3回教育委員会 令和7年4月1日（水）

指名第1号 大石田町教育委員会教育長職務代理者の指名について

④ 第4回教育委員会 令和7年5月22日（木）

議案第9号 令和7年度大石田町教育委員会関係補正予算について

議案第10号 大石田町社会教育委員兼公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第11号 大石田町立歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱について

議案第12号 大石田町立図書館協議会委員の任命について

議案第13号 大石田町立小中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について

- ⑤ 第5回教育委員会 令和7年8月21日（木）
議案第14号 令和7年度大石田町教育委員会関係補正予算について
議案第15号 令和7年度（令和6年度分）教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
議案第16号 大石田町立図書館協議会委員の任命について
議案第17号 令和8年度使用教科用図書の採択について
- ⑥ 第6回教育委員会 令和7年9月18日（木）
議案第18号 教育財産の処分について
- ⑦ 第7回教育委員会 令和7年11月21日（金）
議案第19号 令和7年度大石田町教育委員会関係補正予算について
議案第20号 大石田町交流センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第21号 大石田町交流センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
議案第22号 横山地区総合センター使用料条例の一部を改正する条例の制定について

2. 教育委員会会議以外の活動

- （1）令和7年度学校訪問
令和7年11月7日（金）大石田南小学校・大石田北小学校
大石田小学校・大石田中学校
- （2）その他協議会・研修活動
① 令和7年9月24日（水）
北村山市町教育委員会協議会総会・研修会（東根市）
研修会 部活動の地域移行・地域展開について

3. 総合教育会議の開催

- （1）令和7年度総合教育会議
① 第1回総合教育会議 令和8年1月30日（金）
・教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱（案）について
・町振興実施計画（教育分野）について
・町のエド行政全般について

Ⅲ 施策の体系

令和3年3月に策定された「第7次大石田町総合振興計画」における教育・文化分野の基本目標（6つの施策の柱）と基本方針等は次のとおりです。

学校・家庭・地域が一体となって子どもの成長を支え合う地域とともにある学校づくり、未来を切り開き生き抜く力の育成を重視した学校教育の充実、生涯にわたって心豊かに充実した生活を営むことができる生涯学習体制の整備、安らぎと喜びを与える文化芸術及び元気と感動を与えるスポーツの振興を図ります。次代を担う青少年の健全育成の推進や国内外との交流活動の推進に努め、豊かな心を育む教育・文化のまちづくりを進めます。

1. 【基本目標】

「 豊かな心を育む教育・文化のまちづくり 」

2. 【基本的な方針】

（1）地域とともにある学校づくりの推進

誇り（ふるさとを愛し、地域の文化や伝統を大切にする）と絆（学校・家庭・地域のふれあいと交流で活力に満ちる）と向上心（学ぶ楽しさやよさを実感し、いきいきと学びに向かう）を育む教育を、学校・家庭・地域が一体となり推進します。

（2）学校教育の充実

生き抜く力（学力・人間力・社会力）を身に付けた創造性豊かな児童生徒を育成するため、教育の情報化の推進など、教育内容の充実に努め、学校施設の整備等、総合的な教育環境の充実に努めます。

（3）生涯学習体制の充実

子どもから高齢者まで、生涯にわたって心豊かに充実した生活を営むことができるよう多様な学習活動を支援し、誰もが学べる生涯学習環境の整備を推進します。

（4）文化芸術・スポーツの振興

町民に安らぎと喜びを与える文化芸術及び元気と感動を与えるスポーツについて、町民のニーズを把握し、既存施設の有効活用や各種団体への支援を通して活性を図り、町民の主体的な活動の促進に努めます。

（5）青少年の健全育成の推進

青少年が健全に育成されるよう、学校・家庭・地域・行政が一体となった町ぐるみの支援体制を確立し、健全な社会環境づくりに向けた活動を推進します。

（6）国内外との交流活動の推進

グローバル化への対応やグローバルな視点で地域の良さを発見するため、国際交流活動、地域間交流活動を促進します。

3. 【施策の展開方向】

(1) 地域とともにある学校づくりの推進

ア 地域学校協働活動の積極的推進

- 学校経営に対する地域住民や各種企業・団体等の参画を組織的に進め、未来を担う子どもたちの成長を支え合う地域学校協働活動の取り組みを推進します。
- コミュニティ・スクールと地域学校協働本部の一体的な推進により、新たな価値を生み出す社会に開かれた教育活動を推進し、多様で良質な学びの機会を保障します。
- 行政を含めた教育・福祉・保健等関係機関との連携をもとにして、家庭教育に関するきめ細かな支援と相談機能の充実を図ります。

イ 「引・伸・灯」教育の推進

- 「可能性を引き出し、良さを伸ばし、心に灯をつける」という視点を常に意識して、子どもからお年寄りまで、あらゆる年代に応じた教育活動を展開し、一人ひとりを大切にする教育活動を推進します。
- 地域共生・地域貢献を念頭におき、「誇り（ふるさとを愛し、地域の文化や伝統を大切にする）」と「絆（学校・家庭・地域のふれあいと交流で活力に満ちる）」と「向上心（学ぶ楽しさやよさを実感し、いきいきと学びに向かう）」を育む教育を推進します。

ウ 開かれた信頼される学校づくり

- 学校施設の地域への開放をはじめ、児童生徒や教職員の地域社会との交流、家庭や地域の声を反映した学校運営の推進を通して、開かれた信頼される学校づくりを進めます。
- 学校と地域の双方向の発信を通じた連携協働により、地域の特性を活かした魅力ある学校づくり、生きがいのある元気な地域づくりを進めます。

(2) 学校教育の充実

ア 生き抜く力の育成を重視した教育内容の充実

- 学力（まなぶ力）の向上を支える基礎的な知識と技能及び思考力・判断力・表現力を育成するため、読解力の向上を図り、主体的・協働的に取り組む探究型学習を促進します。
- 人間力（やりぬく力）の土台となる、考え抜く姿勢、困難を乗り越えようとする強い意志、健やかな体力を育成するため、学習方法の工夫、特別活動や学校行事への主体的な参画、体力・運動能力の向

上及び健康教育の充実に努めます。

- 社会力（つながる力）の育成に向け、人との関わりや体験活動を重視し、道徳教育や人権教育、福祉教育等の充実を図り、規範意識及び人間関係を構築する力を高めます。

イ 社会の変化に対応する教育の推進

- 情報活用能力（ＩＣＴ）や外国語能力（国際化）を伸ばす教育環境を整備・活用し、未来を切り開く力の基礎作りを行います。
- 専門性の高い高等学校・大学の教育力や、各種分野における一流講師の積極的な活用を通して、学びが好きになる学校づくりを推進します。

ウ 小中一貫教育の推進に向けた教育内容の工夫と統合への準備

- 教育環境の充実を図るため、児童生徒数の減少を見据えた小学校の統合計画を作成し、小中９年間の子どもの育ちを支える小中一貫教育を推進します。
- 小学校の統合に向けた準備及び中学校への円滑な接続を図るため、３つの小学校の同学年同士が一緒に学ぶ機会を定期的に実施し、スムーズな統合へと繋げていきます。

エ 多様なニーズに対応した教育機会の提供

- 特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒の実情を考慮し、学校における特別支援教育の充実を図るとともに、個に応じた適切な就学相談・指導に努めます。
- いじめや不登校などの心の問題に対し、心の教室相談員を中学校に配置して、小学校も含めた形で相談・指導の充実を図ります。
- 経済的困難を抱える家庭等に対する就学支援・援助を展開します。

オ 安全対策・通学対策の推進

- 施設・設備の定期的な安全点検を通して各学校との連携を強化し、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう努めます。
- スクールガードリーダーの配置や関係団体による見守り活動の促進等により、登下校時の児童生徒の安全対策の強化を図ります。
- 遠隔地の児童生徒が安全・安心に通学できるよう、スクールバスの運行の維持・充実を図ります。

カ 学校給食の従実

- 学校給食センターの適正な管理・運営を図るとともに、地産地消や

食育の視点に立った取り組みを進めます。

- 安全・安心な米飯を学校給食に提供するため、山形連携中枢都市圏連携事業における広域炊飯施設との連携を進めます。

(3) 生涯学習体制の充実

ア 生涯学習施設「町民交流センター（虹のプラザ）」の積極的活用

- 生涯学習推進の拠点となる虹のプラザについて、誰もが使いやすく学びやすい環境づくりに努め、積極的な利用の促進に努めます。
- 地域課題の解決に向けた学習の機会及び実践の場を提供し、活力あるコミュニティの形成を支援します。

イ 生涯学習情報の提供と図書館の充実

- 子どもから高齢者まで、幅広い年齢の多様な学習活動を支援するとともに、利用者のニーズや社会情勢に沿った学習情報の提供に努めます。
- 利用しやすい図書館づくりを進めるとともに、幅広い世代の交流機会の拡大を目指し、適時性を伴った魅力ある企画展示やイベントを充実させます。

ウ 生涯学習事業の推進

- 常に各世代の学習ニーズの的確な把握に努め、幼児・児童・生徒・青少年・成人・高齢者の各世代に応じた生涯学習活動を企画・推進します。
- 公民館分館においては、中央公民館との連携を密にしながら、地域住民との協働による生涯学習活動の充実を図ります。
- 事業推進にあたっては、町ホームページや広報紙、各種関連施設への掲示等、多様な情報提供の場を活用し、町民への周知と参加意欲の向上を図ります。

エ 各種団体等の活動支援と指導者の育成

- 各種社会教育団体、学習団体及びグループ等の育成・発展に努め、自発的な学習活動を引き出し支援することによって、学び続ける風土を育てます。
- 様々な分野における生涯学習の指導者やボランティア等の育成・確保に努め、町民のニーズに応える学習団体が継続・発展するよう努めます。

オ 学習成果の活用

- 町民の学習活動を支援し、その成果を発表する場及び活用する場を確保することにより、学び続けることの意欲を高めます。
- 町民の学習成果を共有することにより、生涯学習社会を実現し、人づくり及びまちづくりに役立てます。

(4) 文化芸術・スポーツの振興

ア 心豊かな地域文化の形成と芸術の振興

- 地域の歴史・文化の継承と個性あふれる文化の創造に向け、町民主体の芸術文化活動を一層推進します。
- 文化や芸術を振興するための指導者やボランティアの育成・確保、より質の高い芸術に触れる機会の充実を通して「町民一人1芸術文化活動」を促進し、活性化を図ります。
- 歴史民俗資料館の整備・運営の充実を図り、啓発活動や講座、展示、情報発信を通して町内外の人々の意識の向上に努めます。
- 指定文化財の適正な保存・保護に努めるとともに、駒籠楯跡等の埋蔵文化財についても計画的に調査を進めます。

イ 元気と感動を与えるスポーツの普及推進

- すべての町民がそれぞれの体力や年齢に応じたスポーツ活動を行えるよう町民ニーズの把握に努め、誰もが参加できるスポーツ活動の場の提供と充実を図ります。
- ライフスタイルに合ったスポーツ・レクリエーションのあり方、スポーツの必要性・重要性に関する啓発活動等を通して「町民一人1スポーツ」を普及推進していきます。
- スポーツ協会をはじめ、各種スポーツ団体の育成・支援に努めるとともに、地域と一体となった指導者やボランティアの育成・確保に努め、スポーツ活動の活性化を促進します。
- 各種競技団体との連携を通して競技スポーツの強化を図るとともに、東北・全国・世界大会に出場する選手への支援や顕彰を行い、優秀な選手の育成に努めます。

ウ 主体的な活動を促進する組織体制の確立

- 芸術文化を愛する各種団体等が生きがいを持って主体的に活動できるよう、町芸術文化協会の組織の活性化に向けた支援に努めます。
- 「いつでも・どこでも・だれでも」、スポーツ活動を通じた仲間づくり・体力づくりができるよう、「大石田スポーツクラブ」の組織体制の強化と活動の活性化を図ります。

(5) 青少年の健全育成の推進

ア 青少年健全育成活動の充実

- 「青少年育成町民会議」及び「青少年育成推進員会」の活性化を図るとともに、青少年の健全育成に取り組む団体等を育成・支援しながら、学校・家庭・地域・行政が一体となったネットワークづくりを進めます。
- 健全な社会環境をつくるために、関係団体を中心とした非行防止や有害図書の浄化等に関する活動、地域における声かけ運動やあいさつ運動を進めます。

イ 家庭・地域の教育機能の向上

- 家庭教育に関する講座・教室等の開催をはじめ、広報・啓発活動や相談・情報提供等の活動を通して、家庭における教育機能の向上を図ります。
- 地域の教育力を活かした活動の発掘・支援に努め、地域における教育機能の向上を図ります。

ウ 青少年団体の育成と体験・交流活動への参画促進

- 子ども会、青少年団体等の育成・支援に努め、講座や各種教室の開催等を通して各団体のリーダーの育成を図ります。
- 青少年にとって魅力ある体験・交流活動を充実させ、地域活動及びボランティア活動への積極的な参画を促進します。

(6) 国内外との交流活動の推進

ア 地域間交流の促進

- 友好協定を締結している宮城県涌谷町とは、当町の豊かな自然環境や農業資源及び宿泊施設等の特性・資源を活かしながら、行政と関係団体と町民が一体となった交流活動を展開します。
- 県内に限らず、東北・全国に視野を広げ、学校教育及び生涯学習の場においても交流の糸口を探り、地域の活性化につなげていきます。

イ 国際感覚豊かな人材の育成

- 外国語の必修化等に伴い、国際理解教育専門員の積極的活用により、学校教育における外国語教育や外国語講座、国際理解を深める事業の充実を図ります。
- 国際交流活動の中心となる民間団体やリーダーの発掘・育成、国や県等の国際交流事業の情報提供等を行うことにより、町民の国際化への意識を高めるとともに、国際ボランティア活動への参加等、国

際協力活動の促進に努めます。

- 小中学生及び青少年の異文化交流事業を推進し、国際感覚豊かな人材の育成を図ります。

ウ 国際化に対応したまちづくり

- 外国人が住みやすく、訪れやすい環境づくりに向け、多言語版のパンフレット等の作成及び外国語観光案内人の育成等について検討を進めます。
- 大石田を訪れるまたは定住する外国人に対して、役場窓口や観光関連施設における分かりやすい対応を充実していきます。

Ⅳ 点検・評価事業と評価方法

点検・評価項目は、令和7年度大石田町教育方針「評価シート」により、「A. 地域とともにある学校づくりの推進」、「B. 学校教育の充実」、「C. 生涯学習体制の充実」、「D. 文化芸術・スポーツの振興」、「E. 青少年の健全育成と国内外との交流活動の推進」の分野ごとに5段階評価を行いました。

併せて、「特に良かった点」、「改善を要する点」について記述式により意見を聴取しました。

また、生涯学習分野では、さらに社会教育委員等から具体的事業について意見を聴取しました。

評価結果は、令和7年度大石田町教育方針「評価シート」集計表のとおりであります。

V 意見の集約

1. 教育方針評価（特に良かった点・改善を要する点）

（A）地域とともにある学校づくりの推進

〔1. 地域学校協働活動の積極的推進〕

（特に良かった点）

- ・地域学校協働本部との連携、学校運営協議会が機能している。本部がハブとなり、関係機関を結び付け、成果が出ていると思う。
- ・3校合同でのサンサンスタディの実施、学校支援（地域人材活用）等が充実していて広報も分かりやすかった。
- ・各学年の総合的な学習を中心に、地域共同本部と連携し学習活動を計画することができた。
- ・校外の地域人材活用が盛んに行われ、生徒たちの郷土愛が深まり、子どもたちも満足していた。また、社会科や総合的な学習との関連で、学びの多い活動となっていた。
- ・発達段階に応じた体験的学習が、体系的にコーディネートされていて、郷土愛の醸成や地域との交流の深まりなど、児童生徒の成長につながっていると思う。

といった感想が寄せられました。

（改善を要する点）

- ・地域人材活用において、活動の「ビルド」が多いので、活動の精選が必要である。高学年が忙しすぎる。
- ・学校運営協議会の改選に合わせ、自校だけでなく町内学校施設参観研修

など新たな取組があってもいいのではないかと。委員の自覚も高まる気がする。

- ・毎年同じことを踏襲すると、徐々に学校でやることが多くなり、負担を感じることもある。

といった課題も挙げられました。

[2. 「引・伸・灯」教育の推進]

(特に良かった点)

- ・学校行事に積極的に取り組んでいる様子が見えてくる。
- ・「させる」から「支える」ことを意識した子どもたちとの接し方について、当然時間はかかるが長い目で見ると自分自身を成長させるという意識が芽生えるのではないかと感じる。
- ・小学校の縦割り班での活動について、子どもたちは創意工夫を持って、上学年の下学期への支援ができている。
- ・学校では、授業や校内研究、学校行事などの場面においても子どもの主体性や自己決定の場の確保を重点に置いた取り組みができている。
- ・中学校におけるひかり塾の実施が効果的だと思う。町に学習塾がない環境において中学生が参加を自己決定し、将来に向けた取り組みがなされている。基礎と応用を選べる点においても工夫がされている。
- ・「なないろスコラ」の設置と運用において実際に利用している生徒がいることが喜ばしい。個別支援の取り組みを今後とも継続してほしい。

といった感想が寄せられました。

(改善を要する点)

- ・行事が多い分、児童生徒にしっかり考えさせて行わせる時間の確保が難しい。どうしても教師主導になる場面が多いので工夫が必要。
- ・特別な支援を要する子どもに対する対応が難しくなっている。多様性は認めながらもその子なりの支援方法を学んでいく。
- ・各種検定の補助は大変ありがたい施策ではあるが、受検者が思うほど多くはない。周知はなっているが子どもの自覚の問題か。
- ・人員不足な期間があり、どうしても一人一人にきめ細やかな支援ができなかった。
- ・支援が必要な子につきっきりになり、他の子への支援が後回しになる傾向。子どもが自分で進められる手立てを立てていく。
- ・自己決定を重視しつつも放任とならないように教師の支援を忘れてはいけないと感じる。

といった今後の課題に対する意見もありました。

[3. 開かれた信頼される学校づくり]

(特に良かった点)

- ・児童の情報共有をご家庭や進学先の学校とできたことが非常に良かった。
- ・地域との連携ですべての学年が地域の方々との交流する機会を設けることができた。
- ・HPやPTA総会等での情報発信があつて有難い。楽しみにしている保護者も多い様子。
- ・毎月の学校便りやHPでの情報発信で学校の様子や行事、先生方について知ることができている。(多数の意見あり)
- ・授業参観や行事を通して、たくさんの保護者の方々に子どもの頑張りを見ていただくことができている。
- ・「すぐーる」の一斉メール配信によって、クマ対応などの緊急時もすぐに情報提供がなされている。
- ・地域の特産物の栽培や伝統芸能等で地域の方と大いに交流することができた。

といった感想が寄せられました。

(改善を要する点)

- ・学校から発出する文書のデジタル化をもっと推進してもいいかと思います。
- ・不祥事がないことが何よりです。地域との連携を深めることで様々な副産物があることが感じられます。
- ・児童生徒の学習にもっと焦点を当てるような取り組みがあつても良いと思います。
- ・各学年の総合的な学習との関連性を持たせる点など児童、生徒のいない家庭では様子が伝わりにくい点があると感じます。

といった意見がありました。

(B) 学校教育の充実

[1. 生き抜く力の育成を重視した教育内容の充実]

(特に良かった点)

- ・将来必要な力を考えながら学習計画を児童と一緒に考えられたことや特別支援学級合同での学習を行い、他者を意識しながら活動をする場面を設けられたことです。
- ・支援学級で授業参観をさせて頂きましたが個々の習熟レベルに合わせて学ぶ姿に感心しました。
- ・学力(点数にあらわれる学力)をあげるにはどうすればよいかを考えた1年間だった。長年大事にされてきた丁寧さと継続した1つの取り組みが大切だとわかった。

- ・単元のゴールの姿を設定し、個人の理解度に応じて難易度を調整しながらの授業実践ができた。
- ・校内研究の日常化が進み、特に教材研究が大事であることを改めて感じた。
- ・チーム学習を通して、全員がリーダーになる経験ができました。子ども達に任せるところは思いきって任せました。子ども達の成功体験よりも、むしろ失敗する勇気を持つことの大切さを意識しました。間違えても諦めずに再挑戦する子ども達の姿が見られるようになりました。

といった感想が寄せられました。

(改善を要する点)

- ・指示を待つだけでなく、自分で課題を見つけ、改善していく子どもの教育が更に充実することを期待します。
- ・個々の学びを尊重するには先生方の人数もさらに必要である。
- ・学習指導要領記載の「深い学び」について、もっと具体的な子どもの姿や状態をイメージしながらの実践や評価について取り組んでいきたい。
- ・I C Tの活用が個々の児童の学力向上に結びついていない。
- ・各教科ごとの授業を研究する時間がもっと必要である。
- ・授業中、周りの子ども同士で意見の交流をしているが、自ら交流したいという気持ちよりも、まだしなければならないからという意識があるので、主体的に自ら動くような学習にしていきたい。

といった意見がありました。

[2. 社会の変化に対応する教育の推進]

(特に良かった点)

- ・写真や動画での振り返りにより、自己理解や自己表現がしやすくなった。
- ・今年 1 年間でA I の活用が一気に進んだ。校務改善につながるのでさらに活用していきたい。
- ・I C T支援員の先生や、若い先生方に聞きながら進めることができた。
- ・タブレットと教育アプリの積極的導入がなされている。
- ・I C T支援員主催の研修会が校務の効率化に効果的だった。(I C T支援員に関する意見多数)
- ・ロイロノートを有効的に利用して、学習を進めました。特に、テスト(ゲームモード)が子ども達には大好評で、知識の定着をはかることができました。
- ・I C Tの活用した授業改善はずいぶん進んできた。また校務ソフトの導入で、事務的な校務軽減につながっている。

といった意見がありました。

(改善を要する点)

- ・タブレット依存気味の児童に対してある程度の規制を設けないと活用していくのが難しいこと。
- ・グローバル化に対応する教育につなげる取り組みに至っていない。
- ・情報リテラシーの育成や保護者との連携が今後さらに必要になる。
- ・様々なことにチャレンジするには綿密な打ち合わせが必要。
- ・子どもたちが文房具の一つとしてタブレットを使っているとよいのだが、遊んでしまうことがあると、効果的に使えない場合がある。
- ・I C Tの実践力は先生によって差が大きい。職員間での情報交換やミニ研修会などでI C Tの日常的な活用を目指す。
- ・大石田町は、セキュリティが強すぎて、授業で活用したいサイトに入ることができないことが多々ありました。せめて、教員用のタブレットだけでも、制限なく利用できると助かります。

といった課題も挙げられました。

[3. 小中一貫教育の推進に向けた教育内容の工夫と統合への準備]

(特に良かった点)

- ・学年ごとに3校合同での授業、宿泊訓練や修学旅行など順調に実施できていると思います。
- ・保小連携、小小連携、小中連携が図られた。
- ・乗り入れ授業では中学校の専門的な部分から教材研究をしたり、全国学力調査の分析をしたりして、教員の学びも深まった。
- ・サンサンスタディが、これから一緒に学習していく仲間と学ぶいい機会になった。違う小学校同士で話している場面が見られた。
- ・今回の子どもサミットは、小中共通の児童会・生徒会の目標についての話し合いを行い、学校全体を巻き込んで自分事とした話し合いができたのでよかった。地区教研の算数・数学部会で中学校の教員が小学生に算数の授業をするという提案ができたのは、大変よかった。
- ・中学校教科担任マイスターの活動は、小中連携を大きく前進させたと感じている。

といった意見がありました。

(改善を要する点)

- ・時数とのバランス。普段の授業の計画が崩れてしまうこと。時数がギリギリまで減らされているので厳しい。
- ・小中連携については、何を目的として活動するのかを明確にして実施することで、意味のある活動にしたい。
- ・どの学年も同じように(回数のばらつきがないように)していくべきである。

- ・学校間の授業参観をさらに活発にしたい。教務主任会として積極的に日程調整などすべきだった。
 - ・大石田小に全学年が集まるのは効率が悪い。また、担任団の打ち合わせ内容を無視して場の設定を勝手に変えられたりして、何のための打ち合わせなのかと思った。担任団が指導しやすいように支えてもらいたい。
 - ・内容のさらなる充実。総合版は、一回限りの取り組みにせず、それぞれの学年の総合にしっかり位置付けていく。
- という意見がありました。

[4. 多様なニーズに対応した教育機会の提供]

(特に良かった点)

- ・児童の進学相談に応じていただき、保護者の方が安心して選択できた。
 - ・教育相談員に定期的に子どもたちの様子を見ていただき、よりよいかわり方についてアドバイスをいただくことができ、とてもよかった。
 - ・特別支援教育専門員の伊藤なおみ先生より、具体的な対応の仕方についてご助言いただいたこと。
 - ・学校で必要とする時に、SC（※用語集P.25参照）の先生に訪問いただき、児童の様子を観察したり、児童から話を聞いていただけたことが大変ありがたかった。
 - ・適応教室を中学校体育館1階にしたことで、教職員との連携も円滑になり、教室登校にもつながっている。福祉と学校とのつながりが密になり、一人一人に細やかな支援が進んでいる。
- といった意見がありました。

(改善を要する点)

- ・子どもの悩みや親の悩みなどを相談できる体制づくり。
 - ・SSWC（※用語集P.25参照）が忙しく、学校側の調整が困難になるケースが多々あった。
 - ・多様な児童が増えている今、特別支援教育補助員への知識や心構えの指導の機会が複数回必要だと感じている。
 - ・改善が見られない家庭への支援の継続が課題。粘り強く関わり、ケース会議等で定期的に対応する。
- といった意見が寄せられました。

[5. 安全対策・通学路対策の推進]

(特に良かった点)

- ・危険な箇所への立て看板の設置をはじめ、新たに危険な場所等の連絡をしてくださるので助かります。
- ・毎月の安全点検、また、地域の危険箇所点検など、事故の未然防止に努

- めた。また、学期始めの教員のバス乗車など、登下校の安全にも努めた。
- ・スクールガードリーダーさんなど、とても手厚く見守って下さり、大変ありがたい。
 - ・クマ対策で、通常ルートではない対応をしていただいた。また、設備の不具合などすぐに確認して対応していただいた。
- といった意見がありました。

(改善を要する点)

- ・年間のスクールバスの利用方法を年度当初に決め、変更しない等、スクールバス運営体制に関する人員不足を感じました。ある程度弾力的な運営ができることを期待します。
 - ・スクールバスについて、危険を感じたという声はいくつかあった。
 - ・運転手のスクールバスの停留所毎の発車時間が守られないので、先で待つ児童が困っている。申し入れても改善されない。
 - ・スクールバスをタクシーのように考えている保護者には、きちんと説明するべきだと思った
 - ・校内遊具の損壊に関する見落としがあった。幸い、事故には至らなかったが、日頃の確認を充実していく。
- といった意見が寄せられました。

[6. 学校給食の充実]

(特に良かった点)

- ・栄養バランスや子ども達が喜びそうな新メニューを考えてくださり、いつも美味しくいただける事に感謝しています。
 - ・栄養バランスだけでなく、食の文化を教えていただき充実した給食時間を過ごせた。
 - ・いのちを育む給食週間を中心に各学年でテーマをもって学習した。子どもたちも給食を楽しみにしている。
 - ・経済状況が苦しい家庭も多いので給食費の無償化は継続していただきたいと思います。
 - ・地産地消や、様々な行事などとの連携献立が献立表に載っていて、子どもたちも毎日楽しみにしている。限られた予算で、おいしい給食を作っていただき、ありがたい。
- といった意見がありました。

(改善を要する点)

- ・給食センターの老朽化。また、町の中で精肉店や生魚店が無い状態で、地産地消が大丈夫なのか？と心配してしまう。
- ・献立にもう一工夫ほしい。高学年や中学生がこれで満足に食べているのかと思われる時がある。一食単価を上げ、デザートや果物などをつけて

ほしい。

- ・美味しく工夫された給食であるのに残さいが多いのが残念。無償化であることも踏まえ、食数の管理をしっかり行い、食育指導にさらに力をいれなければならない。

といった意見が寄せられました。

(C) 生涯学習体制の充実

[1. 生涯学習施設（虹のプラザ）の積極的活用]

(特に良かった点)

- ・児童の作品などを掲示して町の方にもその頑張りを見ていただく機会を設けられたこと。
- ・様々な行事が開催されており、充実していると思う。また、小学生の参加も多い。
- ・ボランティア活動で伝統文化親子いけばな教室を開催する事ができ、虹のプラザの方からの支援がとても助かりました。ありがとうございました。

という意見も頂きました。

(改善を要する点)

- ・いろいろなイベントを企画いただいているが、本校の児童がどのくらい参加できているのか把握できたらと思います。
- ・町の文化祭やイベントに参加する児童を増やしていく。これからも呼びかけていきます。
- ・せっかく素晴らしい施設があるので、スポーツ広場も含めて学校教育でも積極的に活用してほしい。

といった意見がありました。

[2. 生涯学習情報の提供と図書館の充実]

(特に良かった点)

- ・必要な資料や本を町の図書館からすぐにお借りできたので、学習場面で活用することができました。
- ・ぬいぐるみのお泊まり会や本の体験など、楽しい企画があってよかった。
- ・毎月の町立図書館の新作図書情報提供が有り難いです。館内のテーマ展示も読書意欲向上をくすぐる展示でとても良いと思います。
- ・平日19時までの開館はとても使いやすい。たくさんの人が図書館を利用し学びを得ていた。行事等が無くとも子ども達が居る状況が良い。
- ・町民の読書推進に関わる魅力的なイベントが素晴らしいと思います。
- ・中学校のビブリオバトルへの協力や、特別支援学級教室への本の貸し出しなど多くのサポートをいただいた。

といった意見がありました。

(改善を要する点)

- ・毎週日曜日の学習支援教室（町社会福祉協議会の活動）は、もっと町民に広まってくれば良いと思う。
- ・地域として町の図書館まで距離があるため、子どもたち自身の利用がやや少ない。
- ・町民の利用登録率アップ。外部機関や団体との連携を積極的に行い、図書館利用のメリットの周知を図る。
- ・小中学生の図書館の利用実態は調べていないが、一度も利用したことがない子どもをなくしたいと思います。教育活動の一つとして図書館見学や学習を定期的に行ってほしい。

といった意見がありました。

[3. 生涯学習事業の推進]

(特に良かった点)

- ・町の積極的な広報活動によって多くの行事やイベントが周知されている。
- ・キッズタウンなどの取り組みはぜひ継続してほしい。
- ・自主上映「ぼくが生きてる二つの世界（吉沢亮）」を観てとても感動しました。このような催しをこれからも望みます。
- ・トムソーヤの冒険や発明クラブ等、子どもと参加させてもらいました。とても楽しく、よい体験となっています。
- ・町のLINEやホームページでイベントを知ることができた。

などの感想も寄せられました。

(改善を要する点)

- ・ボランティアが前提にならない運営体制をとっていただきたい。
- ・周知されていそうでそうでないことが多い。
- ・文化や芸術を残していきたいのであればもう少し全戸配布など駆使していきたいなという思いはあります。

という意見もありました。

[4. 各種団体の活動支援と指導者の育成]

(特に良かった点)

- ・防災活動や防災教育への取り組み。
- ・クラブ活動への支援。
- ・トムソーヤによる多彩な活動。
- ・文化的な団体や取り組み、発表などが盛んだと感じる。

といった意見をいただきました。

(改善を要する点)

- ・部活動改革が進んでいますが、指導者不足をどう解消するかは課題だと

思います。

- ・新規クラブへの対応が今後必要。
 - ・部活動の地域展開において、生徒が希望する部活動の指導者になれるような地域おこし協力隊の方を探す。
 - ・目立った活動にしてほしい。
 - ・地元の人の参加が少ないように思った。
 - ・活動が行われていると思われるが、なかなか見えにくい。
- といった要望や課題が寄せられました。

[5. 学習成果の活用]

(特に良かった点)

- ・各種発表会などホールの有効活用が日常的にできている。
 - ・育成会や維新祭への参加。
 - ・家族の絆作文の掲示が良かった。
 - ・総合的な学習の時間の掲示。
 - ・小学校と中学校が虹のプラザに集まり、音楽を発表したこと。普段できない経験をさせてもらえたことに感謝しています。
 - ・学習発表会や授業参観などで成果を見ていただいた。
 - ・青少年健全育成会議での発表の機会が浸透している。
- といった感想がありました。

(改善を要する点)

改善についてのご意見は特にありませんでした。

(D) 文化芸術・スポーツの振興

[1. 心豊かな地域文化の形成と芸術の振興]

(特に良かった点)

- ・伝統文化親子いけばな教室を開催することができました。町の芸術祭にも参加できて感謝しております。
 - ・毎年恒例になった大石田かるた大会の開催。
 - ・芸術祭などにおいて、各団体の成果を発信できる場がある。
- といった評価をいただきました。

(改善を要する点)

- ・中学校の部活動地域展開や小学校の統合を迎え、子どもたちが文化芸術に親しむ機会について整備していければと思う。
 - ・町内外への積極的な宣伝。もっと、魅力的なイベントが必要。
- このような意見をいただきました。

[2. 元気と感動を与えるスポーツの普及推進]

(特に良かった点)

- ・全国で活躍するような方が増えてきてうれしいです。
 - ・世界で活躍する選手や、スキーのご指導などをしていただき子どもたちが成長するきっかけづくりになった。
 - ・スポーツ教室の企画。
 - ・上位大会への支援。
 - ・ふれあいマラソンのネット化。
- といった評価をいただきました。

(改善を要する点)

- ・スポーツ広場の年間を通した活用法の検討を。
 - ・もっと若い推進委員を集めて若者が集まるスポーツも増やした方が良いと思います。
- といった意見や要望がありました。

[3. 主体的な活動を促進する組織体制の確立]

(特に良かった点)

- ・スポーツクラブの活動の表彰。
 - ・体験型の活動が多く参加しやすい。
 - ・町民のソフトボール大会やソフトバレーボール大会への関心が高く参加してくださる方々がいる。
 - ・スポーツクラブのおかげで仲間作りができた。
- といった感想や意見がありました。

(改善を要する点)

- ・クラブ活動を活発化するためにも補助金等の活用や周知をしていただきたい。
- ・農閑期の冬に農家の人々が集団でなく、個々に気楽に体を動かせる場所が欲しい。
- ・参加者数の増加に向けたさらなる広報。
- ・虹のプラザは冷暖房がきいているので、雪深い冬や、外に出ることが危険な夏も快適です。建物内で、歩け歩けの推進をしたらどうでしょうか。〇〇コース等複数のモデルコースを示したり、開館している間は自由に歩ける雰囲気職員の方々の声掛けや見守りもお願いしたいです。たまには10時から2キロコース行きます。葉山コース行きます。リハビリコース行きます。みたいなイベントがあってもいいと思います。健康センターとコラボや、駒籠のリハビリの先生とコラボとか。図書館やホールでの催し物のPRにもなるとと思います。もちろん催し物に差支えない範囲で場所を限定したり時には使用禁止の日とかあってもいいと思

ます。

- ・こどもたちがのびのびと体を使った遊びやスポーツができる環境を整えていただきたいと思います。

といった課題や要望が寄せられました。

(E) 青少年の健全育成と国内外との交流活動の推進

[1. 青少年健全育成活動の充実]

(特に良かった点)

- ・児童の発表の機会があつて良かった。今後も大事にしていきたいと思います。
- ・積極的な挨拶ができています。
- ・地域での幟旗や見守り隊による挨拶運動の実施。
- ・あいさつ運動をして元気よくあいさつできるように促している。
- ・青少年健全育成町民会議での企業と連携した中学校での取り組みの発表はおもしろかった。

といった評価や感想をいただきました。

(改善を要する点)

- ・地域の方が児童を見かける時間が少ない。
- ・家庭への啓蒙をしながらあいさつがあふれる町にしていきたい。
- ・学校でもあいさつの声が響きあうようにしたい。
- ・バス通学の児童、放課後は学童利用の児童がほとんどの本校では、地域の方と顔を合わせる場面がとにかく少なくなっている。外で遊ぶ機会も少ないようで、会議等でも子どもたちの姿も見かけないという話をよく聞く。
- ・いつでも、どこでも挨拶ができるように。挨拶運動を元気よくできるように継続していく。

といった課題が寄せられました。

[2. 家庭・地域の教育機能の向上]

(特に良かった点)

- ・学童運営を今後ともお願いします。
- ・ひかり塾を開いていただけたことは、とても良かったと思います。
- ・今年度も家庭教育アドバイザーを招聘してのPTA研修会が実施でき、保護者からも好評であった。

といった感想がありました。

(改善を要する点)

- ・メディア依存の子どもが増えている。
- ・町としても子育てについての講演を楽しい活動と合わせてしてはどうか。ぜひ推進していただきたい。

といった意見がありました。

[3. 青少年団体の育成と体験・交流活動への参加促進]

(特に良かった点)

- ・資源回収への参加。体験学習として教育効果も高く、資金面でも有難い機会である。
 - ・キッズタウンの実施。
 - ・ふれあいマラソンなど、中学生のボランティア活動の機会がありがたい。
- といった感想がありました。

(改善を要する点)

- ・小学校では家庭の協力がないとボランティアの機会を体験しにくい。
- ・育成会の組織や事業の見直し。
- ・中学生は、町の行事や活動にボランティアで参加できているようだが、小学生はそこでまで取り組むことができていない。
- ・子ども会など、団体規模が小さくなっているという実情や学校統合を踏まえた今後の在り方について検討が必要。

といった課題が挙げられました。

令和7年度大石田町教育方針「評価シート」集計表				
番号	評価項目	平均 (R7)	平均 (R6)	平均 (R5)

A 「地域と 学校と の 推進」	1	地域学校協働活動の積極的推進 (コミュニティスクール、地域学校協働本部との連携。教育・福祉・保健機関との連携。)	3.89	4.16	3.99
	2	「引・伸・灯」教育の推進 (可能性を引き出し、良さを伸ばし、心に灯をつける視点で一人一人を大切にしている教育活動の推進。)	3.59	3.76	3.73
	3	開かれた信頼される学校づくり (学校施設の地域への開放。学校と地域の連携、協働。児童、生徒、教職員の地域との交流。)	4.00	3.93	4.05
B 「学校 教育の 充実」	1	生き抜く力の育成を重視した教育内容の充実 (学力、人間力、社会力の育成。各校での探究型学習の推進。)	3.61	3.66	3.65
	2	社会の変化に対応する教育の推進 (情報活用力や外国語能力を伸ばす環境整備と活用。学びが好きになる学校づくり。)	3.68	3.56	3.84
	3	小中一貫教育の推進に向けた教育内容の工夫と統合への準備 (小中9年間の一貫教育。サンサンスグディの実施。)	4.00	3.99	3.95
	4	多様なニーズに対応した教育機会の提供 (個に応じた適切な就学相談や指導。心の教室相談員配置。就学支援と援助。)	3.78	3.73	3.78
	5	安全対策・通学路対策の推進 (施設、設備の定期的な安全点検。スクールガードリーダーの配置、スクールバスの運行。)	4.05	4.00	4.05
	6	学校給食の充実 (地産地消、食育の視点に立った取組み。広域炊飯施設等の連携。)	4.18	4.03	4.07
C 「生涯 学習 体制の 充実」	1	生涯学習施設「町民交流センター(虹のプラザ)」の積極的活用 (誰もが使いやすく学びやすい虹のプラザの環境づくり。)	3.96	4.01	4.02
	2	生涯学習情報の提供と図書館の充実 (幅広い年代の多様な学習活動を支援。図書館の魅力ある企画展示やイベント。)	3.91	3.98	3.86
	3	生涯学習事業の推進 (幼児から高齢者の世代ごと学習事業を企画、推進。中央公民館を中心に各公民館の連携。町のホームページや広報紙での広報活動。)	3.66	3.70	3.66
	4	各種団体の活動支援と指導者の育成 (誰もができるスポーツ活動の場の提供。町民一人1スポーツの普及、推進。東北、全国、世界大会出場選手への支援と育成。)	3.57	3.54	3.53
	5	学習成果の活用 (町民の学習活動の支援、発表する機会と場の提供。学習成果を共有し人づくり町づくりに役立てる。)	3.77	3.79	3.72
D 「文化 芸術・ スポーツ の 振興」	1	心豊かな地域文化の形成と芸術の振興 (町民主体の芸術文化活動の促進。歴史民俗資料館の整備、運営。町民一人1芸術文化活動の推進。駒龍橋跡等の埋蔵文化財調査。)	3.49	3.73	3.53
	2	元氣と感動を与えるスポーツの普及と推進 (誰もが楽しめるスポーツ活動の場の提供。町民一人1スポーツの普及、推進。東北、全国、世界大会出場選手への支援と育成。)	3.69	3.79	3.58
	3	主体的な活動を促進する組織体制の確立 (「いつでも・どこでも・だれでも」スポーツ活動の仲間づくり、体力づくり。)	3.47	3.61	3.45
E 「交流・ 活動の 推進」	1	青少年健全育成活動の充実 (青少年育成町民会議及び青少年育成推進委員会の活性化。地域におけるあいさつ運動、声掛け運動。)	3.55	3.81	3.74
	2	家庭・地域の教育機能の向上 (家庭教育に関する講座、教室の開催。広報、啓発活動。)	3.35	3.41	3.35
	3	青少年団体の交流と体験・交流活動への参加促進 (子供会、青少年団体育成と支援。ボランティア活動への積極的な参加。)	3.50	3.54	3.45
全 体 平 均			3.74	3.79	3.75

			(回答者数84人)		
--	--	--	-----------	--	--

※5段階評価での集計による

できたと思う だいたいできたと思う どちらともいえない あまりできたと思わない できたと思わない

※用語集

- ・ S C （スクールカウンセラー）
- ・ S S W C （スクールソーシャルワークコーディネーター）